

《「にじ組」入会式を行いました》

5月6日(金)に、「にじ組」(2歳児クラス)の入会式を行い、12名のお子さまが新たに幼稚園の仲間となりました。登壇からはお家の人と離れて幼稚園で過ごしています。初日は不安そうな表情のお子さまや、お家の方との離れ際に泣いてしまうお子さまもいましたが、2回目の登壇では泣いてしまうお子さまの姿はなく、職員も抱き上げしてしまう程でした。また、月曜日登壇のお子さまは、幼児クラスの朝礼にも参加しました。幼児クラスのお子さまに「にじ組」さんを紹介し、仲良く遊ぼうねと伝えました。すると早速、年長の女の子と「にじ組」の女の子と一緒に砂でご飯作りをしていました。お互いに会話という会話は無いのですが、ごはんができてお互いにそっと差し出しにっこりしていました。あまりにもかわいらしい光景だったので、しばらく遠目で様子を見ていたのですが、最後までほとんど会話をしないまま遊んでいました。そして遊びの時間が終わると、年長児の子が私のところに来て来て「この子と一緒に遊んでたよ！この子は〇〇を作ってたの！」と教えてくれました。その言葉に、会話はなくてもお互いとても楽しい時間を過ごしたのだからということが十分伝わってきました。くさばな幼稚園ならではの異年齢の関わりが、これからさらに増えていくことに期待が膨らむ一帯でした。

《保育参観を行いました》

16日から18日にかけて保育参観を行いました。一昨年、昨年とコロナの影響で保育参観ができなかったため、久しぶりに参観日が開催でき安堵しています。かわ組は自由画、もり組は折り紙でんとう虫の製作、やま組は切り紙で服の模様作りの製作を行いました。保護者の方には、それぞれのクラスでの活動の様子をご覧いただきましたが、お子さまの幼稚園での様子はいかがだったでしょうか？ご家庭とは違った一面が見られた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？終了後に担任から様子をお聞きと、思ったより落ち着いていたという話でしたので、お子さまたちはお家の姿は気がなりましたが、担任の話や活動に参加できていたのだと思います。全日とも保育室での活動となりましたため、テラスや廊下(かわり、もり組)での参観となり、見えづらかった方もいらっしゃると思います。保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。なお、参観をご覧になり、お気づきの点等がございましたら、担任までお声掛けください。お忙しい中、多くの方にご参加いただきまして、ありがとうございました。

《6月は食育月間です》

先日、我が家の娘(中学生)が6月の給食献立表を持ち帰ってきました。献立の裏に「6月は食育月間です」(下線は影山)というタイトルで食育にまつわることが書かれています。

「食育」そのものは、子どもたちが正しい食の知識や食事を選択する力を養い、栄養を通じて健やかな心身と豊かな人間性を育み生き生きと暮らしていくことを支援する教育で、幼稚園でも意識的に取り組んできています。中学校の「食育月間」では、食育を集中的に行い、推進を強化することでした。恥ずかしな私は「食育月間」というものを知らなかったのですが、偶然にも幼稚園では、既に毎年の保育内容に5月は入りきゅうりの栽培や、田んぼの田おこし、6月にはそら豆の皮むき、サツマイモの苗植え、年長児の調理活動など食にまつわる活動が多く入ってきます。一つひとつの活動を通して、お子さまたちがまず食への関心を持つことをねらいとしています。また、給食を通して様々な料理や食材を口にする事で、味を知ったり、食材について知ったりすることができます。そして何より友だちや先生と一緒に食べることで、食事の楽しさを知ることができます。

しかし、幼児にとって家庭以外の食事は大人が思う以上にハードルが高いようで、お子さまによっては給食がネックになってしまうこともあるようです。そうしたお子さまも少しずつ食事が楽しく思えるように今後も工夫して食育を行い、皆が食に関心を持てるようにしていきたいと考えています。

また、保護者の皆さまにもご家庭にあてて献立表を毎月配布していますが、そちらに栄養士が食に関する記事を記載していますのでご興味いただき、ご家庭でもぜひ参考にしてください。今回、「食育月間」という言葉を知ったことで、改めて食育の大切さを実感し、改めてお子さまたちへ食の大切さを様々な形で伝えていきたいと思いました。今後ご家庭と園と協力して食育に努め、お子さまの成長を見守ってまいります。

園長 影山 幸江

《天下の奇瑞？》

大行寺の境内には大木が何本もあります。銀杏(イチョウ)、楠の木(クスノキ)、榊(ヒバ)、樺(ケヤキ)、桜、白樺(ビャクダン)、泰山木(タイザンボク)、矮鶏榊(チャボヒバ)、柏(カシワ)、楓(カエデ)などなど。木とはいえ動物と同じように面倒を見てやらなくてはなりません。落とした葉や樹皮を掃除し、具合が悪そうならば、養生をします。ときおり枝も払い、元気になるように手当をします。木は、花を咲かせては眺める人びとの心を和ませ、そればかりか、炭酸ガスを取り込み酸素を放出するという、生き物にとって非常に大切な仕事をしてきています。動けない、鳴き声を出さない、だから下等な生命体とは言えません。何十年何百年も同じところにたまたま人びとのありさまをじっと見ています。葉を落とすから、日当たりを悪くするからとか、厄介ものや邪魔もの扱いするとはなんと思知らずなことかと、人間の傲慢さと醜さに怒っていることでしょうか。酸素を供給するばかりでなく、木陰を作って人に涼を取らせ(『葉っぱのフレディ』)、葉を落として他の植物の肥料を与え、建築材料として住まいを与える…。でも、木の所有者は今の時代、放っておけばご近所に怒られ、やむをえず伐れば、なぜ伐った、もったいない、と怒られ、でも木の面倒を見る費用は全部自分持ち。

そんなことはさておき、境内にはこのほかに、もうすぐ生命が尽きようとしている太い山桜(ヤマザクラ)があります。じつはその山桜の太い枝の切り口から、なんと竹が生えてきたのです。竹は根っこが広がって繁殖します。なぜこんなところに出て来たのか不思議です。こんな光景は初めてです。これぞ「天下の奇瑞(きずい)」でしょうか。登陸の際に見てあげてください。 理事長 山城 清邦



ようちえんの遊具紹介 ~もりぐみ編~

もりぐみの、お子さまたちも、毎日様々な遊びを楽しんでいます。今回ご紹介するのは、KAPLA(カプラ)です。フランス生まれの造形ブロックです。木の目が美しいシンプルなピース。だからこそ、なんでもできるのではないかと、イメージネーションがどこまでもかきたえられるのかもしれないですね。カプラは、高く積み重ねて、壊す時の音も美しく、音響工学の事件で、「木琴に極めて近い」ことが実証されているのですよ。

たかできるかな？



カプラのたのしいところは？

- ・ガツチャンってなるのたのしい。
- ・でっかいのつくるのたのしい~
- ・いっぱいたかくなるのたのしい。

〇次回はかわぐみです。お楽しみに♪



迷路をつくってるよ



保護者会だより

今年度は一年を通して、幼稚園の先生方のインタビューを掲載させていただきます。トッパッターは園長の影山幸江先生と杉本美先生です。

質問① 幼稚園の給食の中で好きなメニューは何ですか？

(基本的に全メニューとても好きですが、あえて言うなら) ・鶏のから揚げ ・ひじきごはん

質問② 好きな音楽は何ですか？

特にコレ！というのではなく、クラシック・ジャズ・ロック何でも聴きます。最近では娘の影響でジャニーズ、YOASOBIなどが家で流れていることが多いです。

質問③ どこでもドア(ドラえもん)があったら何をしたいですか？

コロナで全く会っていない遠方の友人の所へ行きたいです。

質問④ 幼稚園の先生ではなかったら何になりたいですか？

・家庭を守る主婦(専業主婦に憧れています) ・小児医療に関係する仕事

質問① 幼稚園の給食の中で好きなメニューは何ですか？

・ひじきごはん ・鶏ごぼうパーカー

質問② 好きな音楽は何ですか？

テンションあがる歌は、BIGBANGの「FANTASTIC BABY」

質問③ どこでもドア(ドラえもん)があったら何をしたいですか？

ハワイに行って、1か月ぐらい遊びまくりたい!

質問④ 幼稚園の先生ではなかったら何になりたいですか？

スタバの店員さん♡ か アパレル店員さん♡



影山先生、杉本先生、お忙しい中インタビューのご協力ありがとうございました。